

PDA 令和4年度 京都高校生即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年11月3日（木・祝）13:40-17:00

会場：京都市立日吉ヶ丘高等学校・オンライン（Zoom）

参加校：6校、8チーム（京都府立鳥羽高等学校、京都市立塔南高等学校、京都市立西京高等学校、京都市立日吉ヶ丘高等学校、京都府立福知山高等学校、京都府立嵯峨野高等学校）

参加者：生徒26名、教員13名

スタッフ：PDAスタッフ、九州大学、東京外国語大学、塔南高等学校、鳥羽高等学校

開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事・中川智皓が挨拶の中で交流大会に参加した理由をたずね、即興型英語ディベートを通して得た学びを将来に活かして欲しいとメッセージが送られました。次に、京都府立嵯峨野高等学校長・橋長正樹先生より、「誰でもミスはするもの。ミスを恐れずに、英語を話すこと、コミュニケーションをとることについて頑張ってください。」とご英語でご挨拶いただきました。その後、トロフィー返還が行われ、PDAスタッフより、参加校の紹介、評価基準の説明などが行われました。POI（Point of Information：相手チームに質疑応答を要求するルール）について、そのポーズの練習を行いました。



PDA 代表理事・中川智皓によるご挨拶



嵯峨野高校長・橋長先生によるご挨拶



全員で「POI！！」

POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は「***Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.*** (園や学校の運動会での順位付を廃止すべきである。)」でした。運動会の目的とは何か、幼稚園児、小学生の特徴は何かといった点について分析を深めながら、どのチームも説得的なスピーチを披露しました。順位付があると楽しめず、運動嫌いやトラウマになると主張する肯定側に対し、否定側は次頑張ろうと努力するきっかけになると主張しました。途中、POI も活発に行われ、ポイントの確認だけではなく、相手スピーチの内容に言及した質問も多く見られました。

ディベートが終わるとお互いにエアー握手を交わし、普段どれくらい英語ディベートをしているのかなどについて話し、交流を深めました。

その後、ジャッジから勝敗、勝敗の理由、個人コメント、ベストディベーター・POI の発表を受けました。



POI で質疑応答！



エアー握手（日吉ヶ丘 VS 福知山）



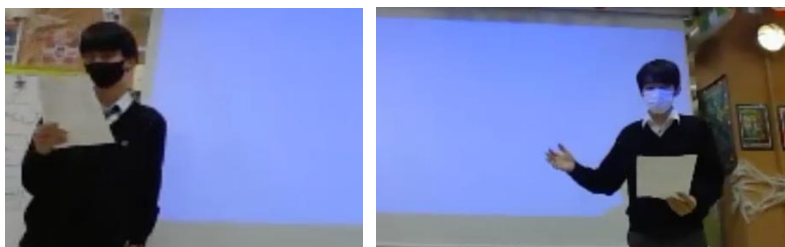
堂々とスピーチ（塔南 VS 嵯峨野 B）

続く第 2 ラウンドのお題は、「***Japan should promote the use of nuclear power plants.***（日本は原子力発電所の利用を進めるべきである。）」でした。安全性、環境負荷、安定した電力供給など様々な観点から議論が行われました。また、ヨーロッパで最も原発を利用しているフランスを例に挙げたり、背景としてロシア・ウクライナ情勢などを説明するなど、自分の知識をフルに活用して説得的なスピーチをする場面も見られました。



スピーチとエアー握手の様子（鳥羽 B VS 塔南）

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「***STEAM education should be prioritised over English education.*** (英語よりも、STEAMを学ぶべきである。)」でした。肯定側は、STEAMを学ことで、iPS細胞のように様々な問題を解決し、人々を救うことができるという点や、就職しやすいという点をあげ、否定側は英語は共通言語であり、むしろ就職するにあたって英語力を求められるようになってきていること、色々なことを学ぶためには英語を学んでいた方が良いということについて説明しました。POIを通した質疑応答も行われ、甲乙つけがたい議論となりましたが、エキシビションディベートを聞いていた生徒が挙手で投票し、Opposition（否定側）の勝利となりました。



エキシビションディベートの様子

閉会式では、エキシビションディベータ賞、チーム賞、個人賞（ベストディベータ賞・ベストPOI賞）について表彰がありました。そして、会場校である京都市立日吉ヶ丘高等学校の学校長・本谷一先生よりご講評いただきました。「私は物理の専門なので、第2ラウンドでは原子力発電に関するディベートがとても興味深かったです。電力の75%以上を原子力発電で賄っているフランスではもしかしたらリスクについての価値観が私たちとは違うかもしれない。今日は京都という同じバックボーンの高校生とのディベートでしたが、これから背景の異なる人とコミュニケーションをとる場合には共通言語の英語で、価値観の違いを受け入れながら話すことが重要になります。本日の経験が皆さんのこれからの成長につながることを願っています。」と激励のお言葉をいただき、令和4年度のPDA京都高校生即興型英語ディベート交流大会は終了しました。



トロフィー授与の様子



日吉ヶ丘高校長・本谷先生によるご講評

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

- ・ PM 塔南高校 _____さん
- ・ LO 西京高校 _____さん
- ・ MG 福知山高校 _____さん
- ・ MO 鳥羽高校 _____さん
- ・ LOR 日吉ヶ丘高校 _____さん
- ・ PMR 嵯峨野高校 _____さん

〈チーム賞〉

- 1 位 嵯峨野高校 B
- 2 位 西京高校
- 3 位 日吉ヶ丘高校



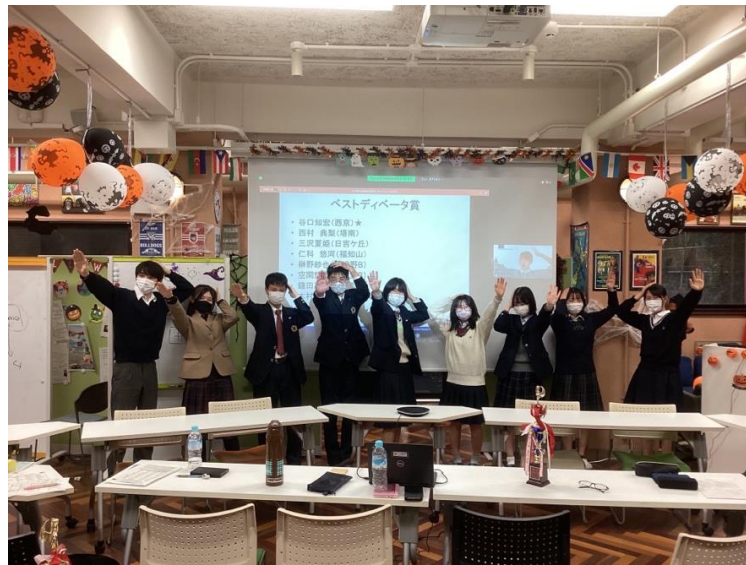
1 位 嵯峨野高校 B

〈ベストディベータ賞〉★は 2 回選ばれた生徒

- ・ _____さん (西京) ★
- ・ _____さん (塔南)
- ・ _____さん (日吉ヶ丘)
- ・ _____さん (福知山)
- ・ _____さん (嵯峨野 B)
- ・ _____さん (嵯峨野 B)
- ・ _____さん (嵯峨野 B)
- ・ _____さん (嵯峨野 A)
- ・ _____さん (鳥羽 B)

〈POI 賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ _____ さん (嵯峨野 B) ★
- ・ _____ さん (嵯峨野 A) ★
- ・ _____ さん (西京)
- ・ _____ さん (塔南)
- ・ _____ さん (日吉ヶ丘)
- ・ _____ さん (福知山)
- ・ _____ さん (福知山)
- ・ _____ さん (鳥羽 A)
- ・ _____ さん (鳥羽 B)



ベストディベータ賞



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

- ・もっと上手になりたいと思いました。（鳥羽高校）
- ・とても緊張して、出て来てほしい単語が出てこなかった。（鳥羽高校）
- ・色々なことを考え、深めながら、英語で表現出来ました。また、賞も取れて嬉しかったです。（鳥羽高校）
- ・実際に試合をして悔しかったり嬉しかったり、英語を使って一喜一憂する機会になったので楽しかった。（鳥羽高校）
- ・他校との交流も英語での交流も滅多にないこと。ジャッジの先生のアドバイスが的確で、勉強になった。（西京高校）
- ・自分の語彙力や論理的思考を試され、ジャッジの方々からの確かなアドバイスを沢山いただいてとてもいい時間になりました。（西京高校）
- ・とてもいい経験になりました。2日前に結成したばかりで練習もなしで不安ばかりだったが、思ったよりもスムーズにできて良かった。他校の意識の高い方々からいい刺激を得ることができました。（西京高校）
- ・さまざまな考え方、価値観、ディベート内容の構成を見ることができた。（日吉ヶ丘）
- ・細かく講評してくださったので負けても次に繋がられるような前向きな気持ちになれた。（日吉ヶ丘）
- ・すごく疲れたが、すごく刺激になった大会だった。はじめて実際にあって交流することが出来てうれしかった。（日吉ヶ丘）
- ・コメントたくさんもらえて、これからも今日の経験を生かして練習していきたいと思います。（塔南）
- ・今回の大会は2回目だったけれど前よりも成長できたと思うし、いろんな人と対戦できてよかったです。（塔南）
- ・また色々な学校とディベートがしたいと思った。（嵯峨野高校）
- ・これからに使えるようなことをたくさん学べた。（嵯峨野高校）
- ・みなさん、アイコンタクトや発音とか、反論のついてくるところが鋭くて、とても勉強になりました！ありがとうございますm(____)m（嵯峨野高校）
- ・即興でやるのが楽しかったのと、友達ができた。（福知山高校）
- ・他の高校生はスラスラと論理的に話せているのに憧れを感じたし、もっと自分も成長したいと思った。（福知山高校）

（教員の声）

- ・生徒の皆さんに刺激を受けました。
- ・参加生徒の皆さん方が、苦勞しながらも懸命に取り組んでいたのが印象に残りました。
- ・京都で即興型ディベートを始めて7年が経過しました。先生方の努力で継続していることに感謝します。
- ・生徒たちの成長と達成感、悔しさなど様々な表情が見られました。



集合写真